



平成 26 年度 公益財団法人櫻谷文庫 事業計画

I. 基本的考え方

櫻谷文庫は、大正 2 年に建築された木島櫻谷の居宅でもある有形登録文化財の和館（母屋、画塾）、洋館（公開を目的とした展示室、収蔵庫）、80 畳大画室などの建築物からなり、櫻谷作品、習作、写生帳や画材、手紙類など櫻谷の制作に関わる資料類、さらに櫻谷の収集した中世から近代にかけての伊藤若冲、長沢芦雪、渡辺崋山、池大雅、頼山陽、寂庵、荻生徂徠、貝原益軒を始めとする日本画関係書画、詩文集、書籍、典籍や儒学関係近代美術関係資料も含め一万点以上の資料を収蔵、これらの歴史的文化的資産の維持、修復、調査、研究、一般公開は一体となるもので、建造物、所蔵品の広く一般への公開、収蔵資料データベース化を通じ、美術、芸術の振興、学術研究への寄与、京都市を含む地域振興をめざす。また隣接する学校法人ヴィアートル学園と連携し、美術文化教育の推進のため一層の協力をすすめる。

公益事業として、公益財団法人泉屋博古館との共同での収蔵資料の調査、整理、データベース作成をすすめる。主に今年度は数百冊にのぼる「写生帖」を中心に調査、整理をすすめ成果の公開、展示に反映させる。併せて櫻谷文庫関連情報の公開、櫻谷作品や登録文化財建築物の一般公開、京都市文化財マネージャー育成講座、泉屋博古館の博物館講習への実技実習協力の事業、併せて所蔵櫻谷作品の各地美術館等への貸出等他法人等との連携をすすめる。併せて、等持院等地域の観光スポットとの連携、衣笠地区他の美術系法人、登録文化財関係法人等との連携を強化します。また木島櫻谷の墳墓の維持管理を実施する。

収益事業等として、洋画家茨木捷彰氏の主宰する美術教室茨木絵画教室に画室をアトリエとして、また地域在住者を主な対象とする書道教室（講師：大脇双琳氏）、及び整美体操教室、（講師：井上敦子氏）に旧画室を教室として、主体展会員浜哲郎氏に本館の一部を制作室として提供する。その他の事業として学校法人ヴィアートル学園との連携による教育支援活動を行ってゆく。

II. 個別事業の推進計画

公益事業について、事業成果をあげるため主に他の関係法人、行政機関等との連携を中心として事業を推進する。新たなコンセプトでの平成 27 年度、28 年度の木島櫻谷関係展示を目標に、準備段階として平成 26 年度の事業を推進する。

【公益事業】

(1) 登録有形文化財建築物 3 棟の補修、保全

景観法（平成 16 年 6 月 18 日法律第 110 号）に基づく京都市長による景観重要建造物としての指定を推進すると同時に補修を実施する。

▶経費 補修費 500 千円

(2) 木島櫻谷旧宅での展示、公開、講演会の実施

2-1.秋の一般公開

▶日時：11 月 14 日（金）、15 日（土）、16 日（日）、21 日（金）、22 日（土）、23 日（日）、



24日（祝）の10時～16時

講演会：「木島櫻谷研究の最前線(仮)」 泉屋博古館学芸室主査実方葉子氏

11月23日（日）13時～15時

▶入場料 600円 予想入場者数 700名 入場料収入見込み 420千円

▶経費 臨時賃金@5,500円×3名×7日間=115.5千円

2-2.グループ・団体への公開

じぱんぐ倶楽部、NHK文化センター、他建築関係団体等

▶日時：随時

▶入場料 540円 予想入場者数 100名 入場料収入見込み 54千円

▶経費 0円

(3) 近代日本美術史、建築史、京都学等学術研究、教育への寄与

これらの学術、教育への協力による当文庫設備使用料収入を見込む。

3-1.収蔵資料の調査、整理、データベース作成

平成27年度、平成28年度の展示、公開にむけ、公益財団法人泉屋博古館学芸室との共同で、櫻谷写生帖の整理調査をすすめる。併せてその他の収蔵資料の整理方法を検討する。

京都大学大学院文学研究科美学美術史学専攻学生のアルバイト雇用により作業をすすめる。

▶経費 臨時雇賃金@6千円×2名×25回/年×=300千円

3-2.収蔵品の修復、保全

平成27年度、平成28年度の展示、公開にむけ、櫻谷の日用品をはじめとする収蔵品の修復、保全をすすめる。また美術品の修復に係る助成金の申請を推進する（住友財団、出光文化福祉財団他）。

▶経費 修復費 400千円

3-3.研究活動への協力による連携ネットワークの構築推進

公益財団法人泉屋博古館、京都工芸繊維大学、立命館大学、京都造形芸術大学、(株)千總ギャラリー

3-4.地域との連携推進

一般財団法人高津古文化会館、京都府立堂本印象美術館、等持院、衣笠小学校、地藏盆他

▶地藏盆使用収入見込み 5千円

3-5.学術、教育活動等への協力、支援

・立命館大学文学部京都学講義

▶入場料 540円/人 予想入場者数 20名 入場料収入見込み 10.8千円

・京都工芸繊維大学の建築史の教育

▶入場料 540円/人 予想入場者数 15名 入場料収入見込み 8.1千円

・衣笠小学校の社会科見学（無料）

・京都市文化財マネージャー育成講座



- ▶和館使用料 20 千円/回 1 回/年 使用料収入見込み 20 千円
- ・立命館大学文学部、アトリサーチセンター等研究活動
- ▶和館使用料 20 千円/回 1 回/年 使用料収入見込み 20 千円
- ・泉屋博古館博物館講習への実技実習（無料）

3-6.美術、芸術、創造活動への協力

- ・京都市産業観光局観光 MICE 推進室 メディア支援センターフィルムオフィス関係映像撮影他への協力
- ▶和館使用料 50 千円/回 1 回/年 使用料収入見込み 50 千円

(4) 情報の発信

4-1.櫻谷関連情報の発信

ホームページや Facebook ページ、Pinterest ボードなどのインターネットによる櫻谷文庫関連情報の発信

(5) その他

5-1..木島櫻谷の墳墓の維持管理

5-2..木島櫻谷作品の展覧会入賞作品の所在確認と調査

【収益事業等】

(1)会場等の提供

洋画家茨木捷彰氏の主宰する美術教室茨木絵画教室に画室をアトリエとして、また地域在住者を主な対象とする書道教室（講師：大脇双琳氏）、及び整美体操教室、（講師：井上敦子氏）に旧画室を教室として、主体展会員浜哲郎氏に本館の一部を制作室として提供

(2)ヴィアトール学園との連携による教育支援活動

その他の事業として学校法人ヴィアトール学園との連携による教育支援活動を行う。